

この通信は、市町村立学校の新たな学びの姿を学校や先生方にレポートすることで、ICT教育をより一層推進することを目的としています。Vol. 2は一人一台端末に係る学校の悩みと解決策をまとめました。水谷年孝先生【春日井市立高森台中学校校長・文部科学省ICT活用教育アドバイザー】からアドバイスもいただいています！

★一人一台端末に係る学校の悩み Q&A★

Q1：一人一台端末の活用のポイントを教えてください。



A ICTは個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実する上で基盤的なツールとして必要不可欠なものです。特定の教科等のみでの活用にとどまらず、日常的にICTを学習に活用することが重要です。その際、ICTを活用することそのものが目的化してしまわないよう留意し、これまでの実践と適切に組み合わせることで有効に活用しましょう。また、文部科学省の特設ウェブサイト「StuDX Style」【資料①】の優良事例等を参考にして、活用初期段階での具体的な活用事例を教職員にお知らせし、学習指導のみならず、連絡手段や健康観察、相談窓口等の授業外での利用なども積極的に検討してはいかがでしょうか。【資料②】

Q2：情報教育担当です。研修計画の立案についての情報を教えてください。

A 研修計画の立案に当たっては、一人一台端末の活用方法に関する優良事例や本格始動に向けた取組事例（StuDX Style）【資料①】、独立行政法人教職員支援機構が公開している研修用動画【資料③】、文部科学省が作成・公表しているICTを利用した学習活動の例を示した「教育の情報化に関する手引」【資料④】、ICT活用に関する専門的な助言や研修支援等を行う「ICT活用教育アドバイザー」【資料⑤】などが活用できます。

Q3：一人一台端末の持ち帰りのメリットを教えてください。



A 一人一台端末の持ち帰りは、家庭学習の質を充実させる観点や、臨時休業等の非常時における学びの継続を円滑に行う観点からも有効です。その際には、児童生徒が様々な場所や場面で端末を活用しながら主体的に学べるよう、学校設置者が事業者等と締結する管理運用面の契約内容も含め、一人一台端末の持ち帰りを安全・安心に行える環境づくりに取り組みましょう。また、端末の管理の在り方や学習目的・内容を明確にして児童生徒・保護者と共有することが重要です。【資料②】「学校設置者・学校・保護者等との間で確認・共有しておくことが望ましい主なポイント」も参考にしましょう。【資料⑥】

Q4：一人一台端末の学校内で活用の制限のポイントを教えてください。



A 児童生徒の発達段階や情報活用能力の習熟の程度により、一時的に端末やサービスの機能の一部を制限するような場合も想定されますが、活用に関する課題については、一人一台端末を積極的に活用する中で解決を図ることが重要です。こうした制限は、フィルタリングやネットワーク機能を適切に行いながら、児童生徒の活用状況を確認しながら段階的に制限をなくしていき、真に必要な場合にのみ、限定的に行うようにしましょう。【資料②】



Q5：デジタル教科書・教材の活用のポイントを教えてください。

A ICTを活用しつつ学びの充実を図るため、英語や一部の教科で導入されているデジタル教科書について、授業で積極的に活用してみましょう。また、学校の授業や児童生徒の自宅等での学習、教職員の指導の改善等に活用できる教材や動画等のコンテンツを掲載している文部科学省の「子供の学び応援サイト」の活用を検討してみてもはいかがでしょうか。

【資料②】【資料⑦】

★資料★（令和5年2月2日現在）

【資料①】 StuDX Style（文部科学省） <https://www.mext.go.jp/studxstyle/>

【資料②】 GIGA スクール構想の下で整備された学校における1人1台端末等のICT環境の活用に関する方針について（文部科学省） https://www.mext.go.jp/content/20220303-mxt_shuukyo01-000020967_1.pdf

【資料③】 校内研修シリーズ（独立行政法人教職員支援機構） <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/>

【資料④】 「教育の情報化に関する手引」について（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html

【資料⑤】 ICT活用教育アドバイザーについて（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1369635.html

【資料⑥】 「学校設置者・学校・保護者等との間で確認・共有しておくことが望ましい主なポイント」

（文部科学省） https://www.mext.go.jp/content/20220303-mxt_shuukyo01-000020967_4.pdf

【資料⑦】 子供の学び応援サイト（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

水谷先生からのアドバイス【文部科学省ICT活用教育アドバイザー】

GIGAスクールで整備された一人一台端末とクラウド環境の活用が始まって2年が経過しましたが、それぞれの学校での活用状況や児童生徒の学びはどのように変化していますか。活用を進めるためのポイントはいくつかありますが、この新たな環境は、活用経験のない新たなものですので、まずは先生たちが日常の業務での情報共有や協働作業でどんどん使って、その良さや便利さを体験することが近道です。その体験の中から、授業での活用イメージをつかむことができますし、業務自体の効率化や研修時間の短縮など働き方改革にもつながります。



★その他の一人一台端末における学校の悩み★

- ・ 回線速度が遅く感じることや、接続機器の不調で授業が進まないことがあります、困っています。
- ・ 故障端末の修理に時間がかかるため、その期間の予備端末不足で対応に困っています。また、故障端末の修理費用が捻出できず、持ち帰りを控えることにつながっています。
- ・ 体育館や運動場、校舎外で使用できないので、保健体育の授業等で活用できません。
- ・ 複数のアカウント管理、年度移行作業や新しく入る機器等の保守・管理の仕事が増加して多忙になっています。
- ・ ICT支援員の効果的な活用が、よく分かりません。
- ・ タイピングでの文字入力に時間がかかるため、使用を控えることがあります。
- ・ 小学校の段階では、紙に書くことを大切にしたいため、使用を控えています。
- ・ 学校での活用が少ないため、保護者に不満がでています。

学校や教職員の実情に応じた工夫が求められます。周囲の学校や小中学校間で情報共有することで良いアイデアが見つかることもあります。また、情報担当者など特定の教職員に負担が偏ることのないよう、適切な校務分掌や校内の連携体制も重要なポイントです。

「あいちICT教育通信」でICT教育の推進（教育活動の紹介等）に協力していただける学校及び市町村教育委員会を随時募集しております。

お問合せメールアドレス giga_school@pref.aichi.lg.jp まで。

また、本通信は、愛知県のHPで公開中です。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ictkyoiku/aichiictkyoikutushin.html>

本通信の
二次元コード

